【学校だより：希望の虹　11月号】

子どもたちをよりよく育てるためのカリキュラム（教育課程）編成について

校長　谷口　源太郎

秋もだいぶ深まってまいりましたが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃から本校の教育活動に対する深い御理解と御協力に感謝申し上げます。

10月6・7日の5年生集団宿泊学習、11月7日の運動会、11月15・16日の6年生修学旅行はお陰様で全て天候に恵まれて計画どおりに開催することできました。現在，子どもたちは12月11日（土）に開催予定の校内持久走記録会に向けて朝のランニングに一生懸命取り組んでいます。

学校は、これらの学校行事を通じて子どもたちを一回りも二回りも大きく成長させたいという思いをもって取り組んでいます。学校はこの時期から来年度のカリキュラム（教育課程）編成に取り掛かります。**カリキュラム（教育課程）とは、子どもたちをよりよく教え育てるための教育計画のこと**です。各学校行事を、どのような趣旨・目的で行うのか、どのような活動内容に取り組ませるのか、どのような方法を用いて教え育ていくかなどを、教科領域ごとに目標→内容→方法を具体的に計画立案していきます。それを定める際に根拠となる・基礎となるものが**現在の子どもたちの姿や実態**です。子どもたちの良いところは更に伸ばし、課題であるところは確実に改善する。そのための手立てをカリキュラム（教育課程）にしっかりと組み込んでいくことが重要となります。

さて、この2年間はコロナ禍により学校、PTA、地域の様々な行事・イベントが延期や中止になったり、開催してもコロナ対策をしっかりとして活動内容をいつもの半分にしたり、時間短縮をしたり、参加者の制限をしたりするなどして実施してきたところです。今年度に行われた各種行事の活動内容、開催方法等を振り返ってみると、**その行事で核となる、本当に必要な活動だけを残して行った**ことが分かると思います。

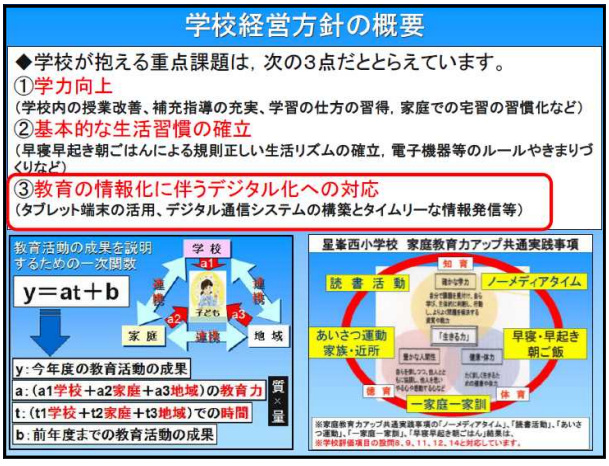
運動会を例に説明すると、各学年が行った種目は2種目。①かけっこ・短距離走などの「走る種目」と、②ダンス・踊りなどの「表現運動の種目」または学級対抗団体種目の計2種目です。6年生だけは最終学年ということで、短距離走、棒踊り、学級対抗リレー（団体種目）の3種目にしました。これが**体育学習で学んだことを発表する運動会での核となる部分**なのです。今年度も行えなかったPTA種目、敬老種目、来賓種目などは運動会の核になる種目に付け加えられた派生的な種目であることが分かると思います。スリム化された運動会に対する保護者の意見は様々です。「午前開催になったことで弁当を作らなくて良かった。」「6年生のPTA親子種目はさせたかった。」などの声が聞かれました。

学校としては、今後コロナ感染症が完全に収束した場合、3つの対応策があると考えています。

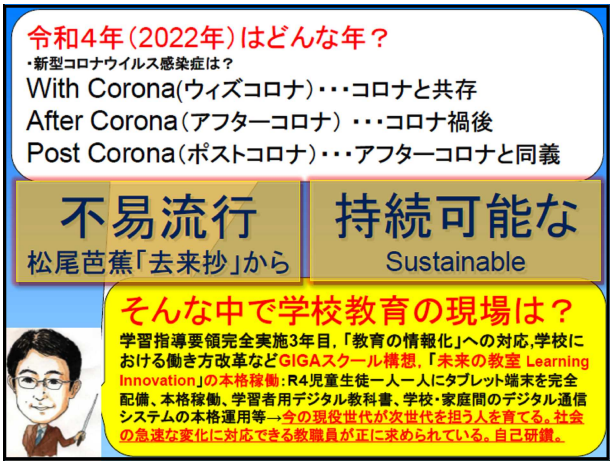
①案：すべての種目を完全に元に戻す。	→	終日開催	→ 弁当、各種種目の準備必要？
②案：今年度分に加えて一部だけ元に戻す。	→	昼を超える	→ 弁当が必要？
③案：今年度のように午前開催を継続する。	→	午前中開催	→ 弁当なし下校

このことについては、今後、広くご意見を伺いながら取りまとめていきたいと思います。

「学校・家庭・地域が連携し，子ども一人一人に『生きる力』を育む星峯西小学校プラン」に取り組み始めて８か月が過ぎようとしています。これまでに子どもたちの健全育成に向けて様々な新たな取組を行っていますが、その成果が子どもたちの姿となって少しずつ表れてきています。今後、更によりよい教育活動ができるように学校は保護者や地域の方々に学校の基本的な考え方をしっかりとお伝えするとともに、保護者や地域の声に耳を傾けながらともに取組を進めていきたいと思います。



【来年度学校経営の重点課題】



【来年度はどんな年？見通し】